

当会会員の(株)土谷特殊農機具製作所(帯広市)が
平成 28 年 7 月 21 日付の日刊工業新聞に紹介されました。

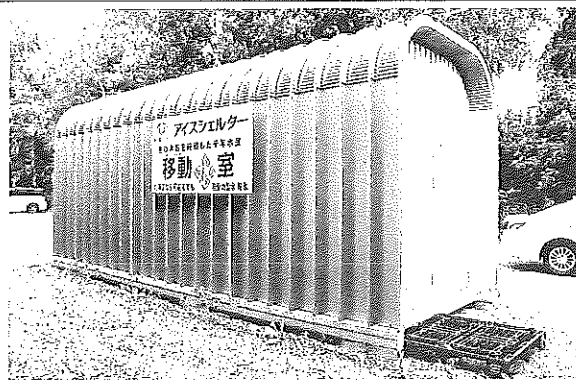
土谷特殊農機具製作所

年間通じて冷温維持

北海道 農産物 貯蔵システム本州展開

【札幌】土谷特殊農機具製作所(北海道帯広市、土谷紀明社長、0155・37・2161)は、年間を通じて冷温を維持する貯蔵システム「アイスシエルター」を活用し、北海道の農産物を本州の市場へ届ける事業を試験的に始める。全国各地のスーパーマーケットなどに、新鮮な農産物を調達できる仕組みとして利用を提案する。2、3年後までに事業化したい考えだ。

アイスシエルターは冬期に自然の寒さを生かして貯氷庫内の水を凍結させ、水が凍った氷が溶けたりする時に発生する潜熱を利用して、水が溶けきるまでの温度は0度Cという現象によって、夏期でもシエルター内を低温状態に保てる。土谷特殊農機具製作所はアイスシエルターを導入。これまでアイスシエルターは固定して利用することが多かったが、アイスシエルターごと運搬できる体制を整えた。全国的な金融機関の協力も得ながら、地域のスーパーやコンビニエンスストアへの道産農産物の展



開を目指す。同シエルターは農産物の品質劣化を抑えて保管するだけではなく、外気を遮断し害虫の侵入も防げるので無

土谷特殊農機具製作所が手がける運搬可能なアイスシエルター
農業で安全な農作物の生産も可能だという。同シエルターの水冷熱を用いて、野菜や食肉を熟成するなど付加価値をつける取り組みも進める。土谷社長は「農業という地域産業の創生につなげたい」としている。